

令和3年8月20日開催

地域活力・市民生活向上特別委員会

委員長報告

令和3年9月定例会

委員長 吉田英司

去る8月20日に開催されました当委員会の審査概要について、順次ご報告申し上げます。

初めに、報告事項の1「川口市まち・ひと・しごと創生総合戦略交付金事業の検証について」報告を求めましたところ、書面により次のような説明を徴しました。

本市は、令和2年度地方創生推進交付金において、先端技術体験がもたらす地域振興と人材育成および公共交通不便地域の解消として、近未来技術等社会実装事業を申請しており、交付金額は約4,140万円であるとのこと。

当該事業では、SKIPシティ等における自動運転バス及びパーソナルモビリティの実証走行のほか、川口市立高等学校の理数科教育と連携した将来の産業を生み出す人材育成及び川口市立科学館での自動運転に関する特別展示を行ったとのこと。

重要業績評価指標については、自動運転バス利用者数等の3つの指標を設定し、効果検証を行うとのことでありました。

以上のような説明に対して、教育と連携した人材育成としての今後の取り組みについて、質疑応答の後、本報告を終了いたしました。

次に、報告事項の2「第2次かわぐちグリーン・エネルギー戦略の進捗状況について」報告を求めましたところ、書面により次のような説明を徴しました。

当戦略における再生可能エネルギー利用の推進については、太陽光発電システムの導入による年間発電量が約440万キロワットアワーとなり、目標達成率は69.3パーセントであるとのこと。省エネルギーの推進については、公共施設の照明LED化により電力使用量が約381万キロワットアワー削減され、目標達成率は783.7パーセントであるとのこと。次世代自動車の普及促進については、新たにハイブリッド自動車を4台導入し、目標達成率は120パーセントであるとのこと。

これらの施策による温室効果ガス排出量の削減効果については、CO₂換算で約7,730トンCO₂となり、これは約4億7,981万円分のガソリンを消費しなかったことに相当するものであるとのことでありました。

以上のような説明に対して、再生可能エネルギー利用の推進における目標達成の見通しについて問われ、これに対して、令和4年度中に達成できる見込みであるとのことでありました。

このほか、次世代自動車を購入する市民への支援制度における対象車種の拡充について等、質疑応答の後、本報告を終了いたしました。

最後に、報告事項の3「川口市戸塚環境センター施設整備・運営管理事業に

ついて」報告を求めましたところ、書面により次のような説明を徴しました。

本事業は、戸塚環境センターの施設整備を行うとともに、長期の委託により施設の維持管理及び運転管理を行うもので、予算総額は約688億円であるとのこと。

施設整備は、西棟を除く既存施設を解体し、新たに焼却施設等を建設するもので、契約期間は令和12年3月31日までを予定し、施設の維持管理及び運転管理は、新たに建設する施設のうち環境啓発棟を除く施設の維持管理及び運転管理を委託するもので、契約期間は令和31年3月31日までを予定しているとのこと。

事業者の選定にあたっては、公募型プロポーザル方式を採用し、川口市戸塚環境センター施設整備事業者選定委員会において、技術審査等を実施したとのこと。

また、本事業の実施に伴い旧職員住宅の解体工事等を別途実施するとのことでありました。

以上のような説明に対して、工事期間におけるごみの搬入車両の滞留場所について問われ、これに対して、可能な限り敷地内で滞留できるよう検討していくとのことでありました。

このほか、整備計画案におけるごみの搬入経路について等、質疑応答の後、本報告を終了し、委員会審査を終了した次第であります。

以上で報告を終わります。